

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 93

事務事業名	スポーツ施設整備改修事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	地域げんき課スポーツ振興室		
課長名	出口 孝	内線	186
担当者名	葉山 奈美	内線	187

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020102	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		スポーツの振興
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	2	体育施設費
事業コード	030000	スポーツ施設整備改修事業

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	市が管理するスポーツ施設		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	利用者が安全で利用しやすい施設に整備する		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	各スポーツ施設の維持管理のため、必要な個所の改修工事を実施する。		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等	大村市体育施設条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 改修工事箇所	計画値	4	2	3	2	
		実績値	6	12	7		
	実施箇所数/計画箇所数	達成度	%	150.0%	600.0%	233.3%	
成果指標	① 体育施設年間利用者数	計画値	378,000	378,000	400,000	442,000	
		実績値	420,645	439,954	454,933		
	実績利用者数/計画利用者数	達成度	%	111.3%	116.4%	113.7%	
②		計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	30,595	46,976	64,952	22,160	0	13,267	4,957	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他		7,000	30,215					
一般財源	30,595	39,976	34,737	22,160	0	13,267	4,957	
② 人件費(千円)	1,940	2,896	4,234	4,565	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.15	0.38	0.60	0.55	スポーツ施設の整備改修	スポーツ施設の整備改修	スポーツ施設の整備改修	
時間外勤務(時間)	4	12	1	5				
嘱託等人数(人)	0.40	0.00	0.00	0.30				
フルコスト(①+②千円)	32,535	49,872	69,186	26,725				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成28年度は、鈴田運動広場ダッグアウト屋根設置、弓道場トイレ新設、市民プールウォータースライダー塗装改修工事、弓道場防矢ネット取替工事、市民プール給湯器取替え工事、ナイター設備プレイングタイマー取替え工事、平成29年度の野球場改修に向けての設計業務委託などを行った。 年次計画に基づいた改修工事等を予定している。
事業が抱える問題・課題等	多くのスポーツ施設が老朽化のため、利用に支障が出てきているので、今後も計画的な改修工事が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
入札により適正に行っている。 市の行政財産であり、市が負担すべきものである。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	スポーツ施設のほとんどが老朽化が進んでおり、年次計画(～H31)で随時実施していく。平成29年度の改修工事費は当初予算額 0円であるが、野球場改修工事と陸上競技場備品購入については、スポーツ振興くじ助成金で採択された場合に補正予算で対応し、4種公認競技場の認定に向けた工事を平成29年度と平成30年度に分けて実施していく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	利用者の安全性と利便性を確保できる

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。